

テーマ 6

「守り、伝え、共に生きる」（人権課題：アイヌの人々）

1 学習のねらい・人権教育の視点

- (1) アイヌの人々について、先住民族であることや歴史的経緯、偏見や差別の実態等に関する正しい認識をもつ。
- (2) アイヌの人々の文化や尊厳を尊重するとともに、アイヌの人々に対する差別をなくそうとする意欲・態度を身につける。
- (3) 「アイヌ民族」としてのアイデンティティに関する葛藤や、アイヌの人々の文化や権利を復興し継承していこうという動きを共感的に理解する。
- (4) 「先住民族の権利に関する国際連合宣言」等、先住民族の尊厳を取り戻そうとする国内外の動向を知ることから、すべての民族が尊重されるべき権利を有していることを理解するとともに、多様性を尊重した共生社会づくりに向けた意欲や態度を身につける。

2 指導上の留意点

- (1) この人権課題を身近に感じられるように、いじめや結婚差別、就職差別など他の人権課題や各教科での取組等と関連づける。
- (2) 修学旅行等の事前学習として取り組むことも考えられる。

3 展開例

学習活動	指導上の留意点、使用する資料
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">アイヌの人々について知っていることは何だろうか。</div> 1 アイヌの人々について知っていることを挙げる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の挙げた事項に触れながら、アイヌ民族が日本の先住民族であるということや、歴史的背景を確認させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">瑞希さんが、アイヌであることが言えずに、ビクビクしていたのはなぜだろうか。</div> 2 個人で考えてワークシートに記入し、ペアやグループで共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考資料等から差別の実態を認識させ、それらに対する不安が理由として考えられることに気づかせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分のルーツや文化などの個性を肯定的に捉えるために必要なことはなんだろうか。</div> 3 個人で考えてワークシートに記入し、ペアやグループで共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ マオリなどの偏見や差別を乗り越えて肯定的に捉えている事例を紹介する。先住民族の権利にも触れる。 ○ 文化の良さを学ぶ、多様な文化を尊重し合うなど、周囲の理解が大きいことにも気づかせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">アイヌ語などアイヌ文化の継承・復興について、自分たちにもできることは何だろうか。</div> 4 今日の授業をふり返り、気づいたことや考えたことを記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ アイヌ民族やその文化等多様な文化について理解を深めさせる。 ○ ルーツであるアイヌ語を継承していこうとする思いに共感し、自他を尊重しようという意欲や態度についてふり返らせる。 ○ 国の動きとして、アイヌ施策推進法のポイントについて触れる。

[ワークシート]

守り、伝え、共に生きる

年 組 番 名前 _____

- 1 アイヌに人々の文化や歴史など、知っていることを挙げてみよう。

- 2 織田瑞樹さんに関する文章を読み、瑞樹さんがアイヌであることが言えずに、ビクビクしていたのはなぜか考えて記入しよう。

- 3 瑞樹さんが自分のルーツであるアイヌの言葉を前向きに捉えられるようになったのはなぜだろうか。

- 4 アイヌ語などアイヌの文化の復興・継承のために、自分たちにもできることは何だろうか。

- 5 この時間の感想や、学習の中で他の人権課題にも生かせると思ったことを書こう。